

: 基本構想

第1章 伊豆市の将来像

将来人口設定	修正箇所	番号	修正前	修正後	修正内容	現行計画該当ページ
将来人口設定	将来設定人口	1	将来人口については、「伊豆市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」を踏まえ、令和7年度の設定人口を28,500人とします。	将来人口については、「伊豆市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」を踏まえ、令和7年度の設定人口を27,800人とします。	第2期伊豆市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン最新版の将来設定人口に反映	11

第2章 まちづくりの重点目標

重点目標	修正箇所	番号	修正前	修正後	修正内容	現行計画該当ページ
【重点目標1】	重点目標	1	【重点目標1】魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保	【重点目標1】少子化対策と次代を担う人材の育成	重点目標5を重点目標1に移動	12
【重点目標2】安全で心地よい生活環境の創出	-	-	-	-	-	13
【重点目標3】産業力の強化	-	-	-	-	-	14
【重点目標4】まちへの誇りの醸成とブランド力の向上	-	-	-	-	-	15
【重点目標5】	重点目標	2	【重点目標5】少子化対策と次代を担う人材の育成	【重点目標5】魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保	重点目標1を重点目標5に移動	16
【重点目標6】	重点目標	3	-	【重点目標6】将来にわたる安定的な行財政運営の堅持	新たに重点目標6を追加	-
基本構想の体系	設定人口	4	平成37年度の設定人口：28,500人	令和7年度の設定人口：27,800人	設定人口を変更	17

第3章 土地利用構想

土地利用構想	修正箇所	番号	修正前	修正後	修正内容	現行計画該当ページ
土地利用構想図と解説	全文	1	土地利用構想図、ゾーン区分、エリア形成の構成で記載。	都市計画マスタープランの全体像を示し、「エリア」「拠点・中心地」について解説	都市計画マスタープラン最新版を本計画に反映	18~20
各地区拠点将来構想	全文	2	※該当なし	修善寺駅周辺、牧之郷駅周辺、土肥地区周辺、天城湯ヶ島・青羽根地区周辺、中伊豆・八幡地区周辺拠点将来構想を記載。	各地区拠点将来構想を追加	-

基本計画

後期基本計画の考え方

後期基本計画の考え方	修正箇所	番号	前期	後期	修正内容	現行計画該当ページ
後期基本計画の考え方	全文	1	- <u>※本計画で新たに追加</u>	1. 前期基本計画の振り返り 2. 進む人口減少と高齢化 3. ポストコロナ・ウィズコロナに対応したまちづくり 4. ポスト平成の大合併に対応したまちづくり	後期基本計画の考え方について基本計画冒頭ページに記載。	-

後期基本計画における基本方針

基本計画における基本方針	修正箇所	番号	修正前	修正後	修正内容	現行計画該当ページ
後期基本計画における基本方針	全文	1	- <u>※本計画で新たに追加</u>	持続可能な市政運営～「ポスト（ウィズ）・コロナ」「ポスト・平成の大合併」を見据えた市政運営の礎を築く～ 1. 本格的な人口減少社会の到来に向けた戦略的対応 2. 将来にわたる安定的な行財政運営の堅持 基本方針の主な施策体系	後期計画期間の取組みの展開にあたっての基本方針を追記。	-

重点目標

重点目標	修正箇所	番号	前期	後期	修正内容	現行計画該当ページ
重点目標1 少子化対策と次代を担う人材の育成	抜本的に修正	1	※前計画では重点目標5 政策1 子育て支援の充実 施策1 結婚、妊娠・出産、子育ての総合的な支援 施策2 子育て環境の充実 政策2 教育環境の充実 施策1 よりよい教育環境の創出とコミュニティスクールの推進 施策2 小中連携教育の推進 施策3 家庭や地域の教育力向上と連携強化	政策1 結婚から子育てまで切れ目ない支援 施策1 少子化突破と「育てて育つ」の推進 施策2 若者・ファミリー層の移住・定住の促進 政策2 教育の充実 施策1 多様化する社会に対応する教育環境づくり 施策2 未来を拓く子どもたちを育む教育環境づくり	抜本的に修正。 各施策では、「本市の現状」と「市民と共有したいありたい姿」を示し、それを実現するための作戦を立てる。各作戦には主な担当課と主な取組を掲載。	
重点目標2 安全で心地よい生活環境の創出	抜本的に修正	2	政策1 生涯健康の創造 施策1 健康づくりの推進 施策2 地域医療・救急体制の確保 施策3 支え合う福祉社会の実現 政策2 心地よい環境づくり 施策1 都市計画の見直しと心地よい居住環境の創出 施策2 豊かな自然環境の保全 施策3 魅力ある景観の形成 施策4 安全安心な生活環境の整備 施策5 地域防災・防犯体制の強化	政策1 福祉・医療の充実 施策1 共に支え合う地域福祉の推進 施策2 伊豆市版地域医療体制の構築 政策2 安全・安心なまちづくりの推進 施策1 災害などリスクに強いまちづくり 施策2 持続可能な環境未来都市の実現	抜本的に修正。 各施策では、「本市の現状」と「市民と共有したいありたい姿」を示し、それを実現するための作戦を立てる。各作戦には主な担当課と主な取組を掲載。	

重点目標	修正箇所	番号	前期	後期	修正内容	現行計画該当ページ
重点目標3 産業力の強化	抜本的に修正	3	政策1 観光交流を中心とした地域産業の振興 施策1 地域資源を活用した戦略的観光事業の推進 施策2 産業力の底上げと人材の育成・確保 政策2 企業誘致や雇用創出に向けた取組の強化 施策1 市有施設の転用やインターチェンジ周辺等への企業誘致 施策2 農業生産法人の誘致と6次産業化の推進 施策3 就業支援の充実 政策3 起業支援 施策1 起業支援体制の充実 施策2 空き店舗等の活用	政策1 地域の魅力の創造「地域産業の発展による市内経済の活性化」 施策1 東京2020大会を契機としたレガシーの継承 施策2 伊豆市版DMOによる観光地域づくりの推進 施策3 企業誘致や雇用創出に向けた取り組みの強化 政策2 地域の魅力の創造「豊富な農林水産資源の再構築」 施策1 農林水産資源の多面的な活用 施策2 日本一の「わさびの郷」の創出と未来への継承	抜本的に修正。 各施策では、「本市の現状」と「市民と共有したいありたい姿」を示し、それを実現するための作戦を立てる。各作戦には主な担当課と主な取組を掲載。	
重点目標4 まちへの誇りの醸成とブランド力の向上	抜本的に修正	4	政策1 個性的な市民文化・都市文化の創造 施策1 地域づくり協議会制度の推進 施策2 歴史・文化資源の保存、継承、活用 施策3 地域で活躍する人材や活動団体の育成 政策2 まちの個性づくりと情報発信 施策1 まちのブランド化の推進 施策2 戦略的なシティプロモーション	政策1 地域の魅力の創造「人の流れを呼び込む魅力的な暮らしの実現」 施策1 まちづくりの多様な担い手の育成 施策2 新たな交流人口の創出 政策2 地域の魅力の創造「伊豆市に住むことの愛着や誇りの醸成」 施策1 伊豆市が誇る文化・芸術資源の活用 施策2 ふるさとの魅力を学ぶ機会の創出	抜本的に修正。 各施策では、「本市の現状」と「市民と共有したいありたい姿」を示し、それを実現するための作戦を立てる。各作戦には主な担当課と主な取組を掲載。	
重点目標5 魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保	抜本的に修正	5	※前計画では重点目標1 政策1 機能的で魅力あるコンパクトタウンの形成 施策1 賑わいと回遊性のある中心市街化づくり 施策2 地域振興拠点の整備 施策3 公共施設の最適化と機能強化 政策2 まちの骨格となる総合的な交通環境の創出 施策1 交流を支える道路ネットワークの整備 施策2 持続可能な公共交通網の実現	政策1 未来を切り拓くためのまちづくり 施策1 中心市街地への都市機能の集約 施策2 適正な宅地化の誘導 政策2 地域力の向上 施策1 開かれた地域づくりの推進 施策2 地域生活交通の維持	抜本的に修正。 各施策では、「本市の現状」と「市民と共有したいありたい姿」を示し、それを実現するための作戦を立てる。各作戦には主な担当課と主な取組を掲載。	
重点目標6 将来にわたる安定的な行財政運営の堅持	抜本的に修正	6	- ※本計画で新たに追加	政策1 安定した歳入の確保 施策1 収納対策の強化 施策2 財源の確保 政策2 徹底した歳出の抑制 施策1 公共施設の適正化 施策2 事務事業の見直し	抜本的に修正。 各施策では、「本市の現状」と「市民と共有したいありたい姿」を示し、それを実現するための作戦を立てる。各作戦には主な担当課と主な取組を掲載。	

計画の管理方針

計画の管理方針	修正箇所	番号	前期	後期	修正内容	現行計画該当ページ
計画の管理方針	全文	1	- ※本計画で新たに追加	(1) 実現管理方針 (2) 目標指標に対する考え方 (3) 徹底した進行管理	前期基本計画での計画の進行管理の反省を示し、本計画で取り組む管理方針について示している。	